



毎月十五日発行 所大社 宗像 定価 一年送料共 1000円

筑前大島の夏まつり

第四十四回七夕揮毫会開催

台風の影響により雨模様となつた七月十六日、宗像大社中津宮夏祭りの行事である七夕揮毫会(主催)宗像大社中津宮・大島村教育委員会が開催され、宗像市内、郡内はもとより県内各地の児童、生徒約四百四十名が参加、日頃の練習の成果を發揮せんと席上揮毫に臨んだ。



本年で四十四回目を迎えたこの揮毫会は、書道教育の振興と交流の拡大を図ることを目的に、大島小、中学校の先生方を始め各方面の御協力により、毎年この時期に開催されている。

参加者は揮毫だけでなく、豊かな自然に恵まれた大島での一日を樂しみ、親子で心身共にふれあふ機会もある。本年も大島小学校(小學校六年生以上)の二会場で行われ、「ユメ」幼

「ふで」小一、「おまつり」小二、「うめり」小三、「明るい町」小四、「古都の夏」小五、「書雲大志」社務所受付でサザエが参加

者へ手渡されると聞くや、みるみる笑顔となつた。午後二時過ぎ、表彰式に移り、主催者挨拶後、先生の講話に続いて、賞状とトロフィーが授与されると共に、金賞以上の作品が中津宮にて展示され、今年揮毫会も盛況に終了した。

尚賞の入賞者は次の通りである。(金賞以下略) 尚賞 田中 洸平(矢留小三) 田代 卓(八女学院中)

古えより七夕信仰の始まりと云われている大島・中津宮七夕祭が、八月七日午後八時より斎宮山に源を發す天の川が中津宮境内に流れ、この清流を挟んで産生社と織女社が祀られ、年に一度の村を挙げての伝統的行事のひとつである。

当日午後一時、真夏の日差しが照りつける中、末社須賀神社の前で祭典開始。沖・中津宮奉賛会船越会長、山脇保寿会船越会長、杉田村長を始め、大人から子供まで法被姿で参列、村内の悪徳指板・災難消除が祈念された。

佐藤沖・中津宮奉賛会長、杉田村長を始め、島内外の大勢の人々が参列する中、七夕祭を進行、各々願いを込め玉串を捧げ、神事は滞り無く終了した。

祭典終了後七夕踊りを奉納、更に大島村青年団の手による金魚すくい等が催され、夜遅く迄大いに賑った。

大島の祇園祭並びに山笠行事 七月十八日、筑前大島の祇園祭並びに山笠行事が行われた。

山笠並日は夏休み中とあって観客も少なく、村内は暑さを吹き飛ばす活気が終日溢れていた。

先日の国会で「国旗・国歌」法案が成立した。この法案審議に関しては、上程過程から国内を二分する議論が展開されてきた。進歩的有識者と自認する者は、法案の成立は民主主義に反し、軍国主義の再来をなすがすと論陣を張り、この法案成立が如何にも将来の我が国が暗澹たる時代を招くが如き論調である。

残暑御見舞申し上げます

「聞く・考える・作る・伝える」ことが、私たちの仕事です。私たちは「ヘルメス企業体」です。

ギリシャ神話に登場する神・ヘルメスは、翼の生えた細子とサンダルを身につけ、神々の間を飛び回ってそれぞれの神の意志を伝えました。より良いコミュニケーションのお手伝いをめざす秀巧社もまた、ヘルメスでありたいと考えます。お客様が伝えたいことを、伝えたい人にきちんと伝えたい……秀巧社がめざすのは「ヘルメス企業体」です。

秀巧社印刷株式会社
営業本部
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5-14-9
Tel: 092-712-7711 Fax: 092-714-1017
http://www.shukosha.com/

shukosha

神具・装束 株式会社 井筒
福岡市博多区東公園一三三(812-0045)
電話: 福岡(092)651-1945(五線)
本店 京都下京区油小路(六条北入) 600-8231
電話: 京都(075)341-1341(代) 14番

「尚文章賞」
宮本 麻依(旭小二)
山崎 美沙(旭小三)
角 友圭(八幡小二)
菊池 伊織(双葉小三)
上田 悠依(旭小三)
原 里佳(南郷小四)
角 有沙(八幡小四)
鹿嶋 亮介(津屋崎小四)
松隈 未希(鳥飼北小五)
山下 達寛(飯江小五)
河島 里美(北山小五)
有働 悠子(舞原原小六)
梅田 真央(赤間小六)
古賀 渚(鳥飼西中二)
「ヒロカネ賞」
松田 亜依(矢留小二)
高山はるか(光友小一)
井田 展子(自由ヶ丘小二)
東 裕貴(旭小三)
松田 辰徳(矢留小三)
梅田 彩加(安海東小三)
大神 貴寛(東郷小四)
峰崎 尚人(勢門小四)
仲野 雄一郎(北勢門小四)
青野 未来(矢留小五)
森田 和也(津屋崎小五)
花田 和也(津屋崎小五)
円城寺 雅子(旭小六)
太田 麻璃(下辺春小六)
角 太朗(八女西中二)

福岡県神道青年会主催

(第六回) 神職氏子々弟夏期学級



神職氏子々弟夏期学級のグループ写真

八月三日より一泊二日で京都市豊津町の八景山護国神社にて「神職氏子々弟夏期学級」が開催された。

この「夏期学級」は、子供達に夏休みの楽しい思い出の一ページになれば、福岡県神道青年会の主催により福岡県神社庁の後援を仰いで、毎年小学校三年生から六年生を対象に開催しており、今年で六回目を迎えた。

本年は豊津町学習舎供用施設を利用して頂き、二十三名の児童参加のもと開校式を行い、先ず神社参拝の作法を勉強、八景山護国神社にて正式参拝を行った。

昼食にはそうめん流し、工作の「わら細工」では汗を流しながら小さな手で注連縄作り挑戦した。夜には「キャンブファイヤー」を行い、特に子供達の頭上間近に打ち上がる花火に大きな歓声を上げていた。

その夜は興奮してなかなか寝つかない子供達に神青会員は手を焼きながら、

「心字池清掃」

水面に季節の様を写し、日々参拝者の心を和ませてくれる「心字池」は五日間の清掃を終え、再び当日に訪れる人々の心、境内の四季を写し出した。



一話 (80) 古代豪族の奥津城 (5) 樂 柰子

かつて、海が深く陸地に入り込んでいた宗像地域で内陸における一番古く生活した人々の生活は、今から約三千年前の時代に比定されている「上八貝塚」が確認されているだけである。

「御礼」 宗像大社 宮司 太田 可愛 奉納袋配布並に取纏め御礼 平成十一年度、宗像大社夏越天祓式斎行にあたり、郡市氏子各位への奉納袋配布並に取纏めに...

残暑御見舞申し上げます 宗像交通有限公司 代表取締役 塩川 弘昭 TEL 0940-1521-0015 大和印刷 代表取締役 的場 重徳 TEL 0940-1361-2027 Photo Studio 一勢 代表 山下 誠治 TEL 0940-36-8596 ハナダ写真館 代表 山下 孝男 TEL 0940-1361-2009

第四五八回 宗像大社歌会詠草

大野 展 男 選 毎月 25 日 / 夕

名屋 小田 喜一 丈六ぬ浴衣を笑ひよとす

福間 二宮 末子 足腰の弱きを杖によりつつ

武丸 中村さつき 梅雨の雨降らず義弟の法事

吉留 高山 信子 沙羅の花咲いていると娘婿

名屋 小田 留子 リストラた就職難だと言ふ

鐘崎 安永 久子 唇に紅める幼のなすまに

在 自 佐々木和彦 朝風玄海に浮く白き船梅

自由丘 細川 郷子 水浅き柳川下舟の上

田野 森 つるの 縁近き柿の大木茂りあひ

田野 森 甲子 若葉繁る湯川の山は梅雨の

福間 二宮 末子 足腰の弱きを杖によりつつ

武丸 中村さつき 梅雨の雨降らず義弟の法事

吉留 高山 信子 沙羅の花咲いていると娘婿

名屋 小田 留子 リストラた就職難だと言ふ

鐘崎 安永 久子 唇に紅める幼のなすまに

在 自 佐々木和彦 朝風玄海に浮く白き船梅

自由丘 細川 郷子 水浅き柳川下舟の上

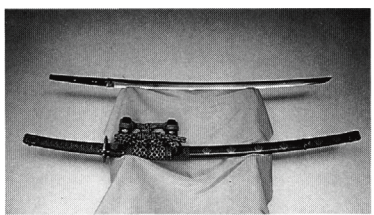
田野 森 つるの 縁近き柿の大木茂りあひ

田野 森 甲子 若葉繁る湯川の山は梅雨の

福間 二宮 末子 足腰の弱きを杖によりつつ

大社の奉納刀(八)

仙 寿



和四十年四月発行の「宗像大社奉納刀物語」には既に鎗身で掲載されている所から、かなり早くから鎗が進んでいたものと思われる。昭和四十六年春、研をほどこした所、鎗がひどく小さな朽ちこみの跡が数ヶ所残ったが、刀の出来の良さが、それを補っている。

宗像大社奨学生だより

博多高校一年 玄真高校一年

福崎 美幸 (大島中卒) 私は博多高等学校に今年四月から通い始めたばかりの一年生です。

河邊 功司 (玄海中卒) 僕は今、古賀市にある玄真高校に通っていて、もう二年生になりました。

田野 森 つるの 縁近き柿の大木茂りあひ

田野 森 甲子 若葉繁る湯川の山は梅雨の

福間 二宮 末子 足腰の弱きを杖によりつつ

武丸 中村さつき 梅雨の雨降らず義弟の法事

吉留 高山 信子 沙羅の花咲いていると娘婿

故郷の神皇 (50)

神祭りの島(4)

沖ノ島の祭りが初まったのが四世紀であるが、四世紀も終りに近づくと、大和政権の朝鮮半島への軍事介入は、増々強度になってくる。これが記録されている。

三九一年・倭(日本軍)海を渡って朝鮮へ出兵。百濟・新羅(日本に服属す。高句麗好太王の碑)

「百濟・新羅は古くから高句麗の支配下にあり、それなのに、倭国が辛卯(しんぼう)の年(三九一年)に海を渡って攻め入り、百濟を破

新羅を破つて征服してしまつた。永樂六(三九二年)わが広開土王(好太王)は自ずから水軍を卒いて百濟を攻め、多くの城を占領した。百濟王は降伏し、「と、鴨

好太王の功績を称せると、五世紀代に入つてくる。日本は「倭の五王」の時代と言われる。これは、応神天皇から雄略天皇までの時代を指しているが、「宋書倭国伝」によると、日本は当時の中国南朝(宋)度々使者を送り朝貢し、東アジアにおける倭国の地位確立の動きをしていたと、言われている。やはりこれ

も対朝鮮半島の政策の一つである。〇四二年、阿知使主、呉国より筑紫・博多、曾形大神に呉国の織女(兄媛)を奉獻す。(日本書紀) 神天皇四十一年(百餘)とある。

これもやはり、海の道海北道を守護する海神への安全の祈りの表われである。また沖ノ島神社での奉獻品の(一)に外国産の「鉄錠」がある。鉄錠は鉄製管の原材料であるが、砂鉄精練術をもたない倭国は、文明が進んでいた朝鮮へ供給を受けていた。

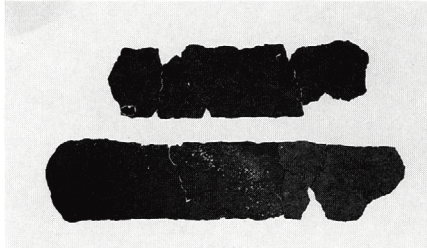
鉄錠は 昭和二十三年に奈良市の大塚から八七二枚発見された。また大阪府藤井寺市の野中古墳からも約三百枚発見されている。

鉄錠の出土品は、大和王朝の中心地である畿内を中心に多量に出土してくるが、神島沖ノ島の祭壇跡からも出土している。

岩上祭祀(四)五世紀の二号遺跡から大形鉄錠一枚(長さ四二・七センチと三二・〇センチ)、二号遺跡からは復元すると長さ一五センチ程のもの一枚

分。

(松)



残暑御見舞申し上げます

みなとタクシー株式会社 代表取締役 古野 浩 宗像市大字土穴三九八―十一 TEL 〇九四〇―三三三―一三三三 FAX 〇九四〇―三三三―二二四四

新星交通株式会社 代表取締役 森 正彦 宗像市大字東郷八九四―三 東郷営業所 TEL 〇九四〇―三六二―二二三八

宗像西鉄タクシー株式会社 代表取締役 出口 典征 宗像市自由ヶ丘二一七―七―三 TEL 〇九四〇―三二一―四一三二

宗像グリーンタクシー株式会社 代表取締役 藤瀬 政敏 宗像市大字河東一〇六一 TEL 〇九四〇―三三三―三三三〇

宗像平和タクシー株式会社 代表取締役 塩川 弘昭 宗像郡福岡町二七二八―一三三 TEL 〇九四〇―四二一―〇〇四〇

福栄タクシー有限公司 代表取締役 保井 久 代表取締役 保井 享 代表取締役 保井 享 宗像郡福岡町二六三三―一八 TEL 〇九四〇―四二一―〇三三三

宗像大社歌会
俳句作品集 四三四

福間 森 清
葉のみな倒れて広し梅雨出
水

小笹 山下しづえ
しあはせを一個の枇杷に鳥
たち

自由ヶ丘 細川 絹子
梅の木さるのこしかけ太
りゆく

日守 花田いつ枝
富士の絵の壁に聳へて梅雨
深し

東郷 吉武 湧泉
再建のさしほつつ南風
吹く

東郷 吉田 杵子
夏帽の白きに母の若々し

東郷 吉田 杵子
咲く真清長と揃えて母に切
る

東郷 三浦美千代
泣き事をさらりとすて初
鰻

東郷 田中 雨葉
使わざる鎌錆ついで羽織と
ぶ

東郷 木原 房子
初夏長尾を引く里の闇



(続)

決の寄物

139



三内丸山遺跡

東北を歩く (2)
層の構造からなっており、
柱がお互いに向かい合うよ
う内側に傾いている。近寄っ
て見ると、その巨大さには

圧倒される。直径一メート
ルの木の柱が地中に六本、
約四二メートル間隔で並
んでいた。柱穴は幅一メー
トル、深さ二メートルあつ
た。それからの高さが可能
だといふ。
建物説、非建物説と分か
れている。長野・諏訪大社
の御柱のようなものか、カ
ナダインアンのトーテム
ポールのようなものか、
直径一メートル埋もれた
柱は何も語ってはくれない。
私は六本の柱を直立させ、
トテムポールみたいに柱
には彫刻をしていたのでは
ないか。あの縄文土器の豊
かな文様や、いろいろな表
情の土偶を見ていると、ふ
とそんなことを感じたので
ある。
なぜこんな柱をたてたの

か、物見やうら説、灯台説
祭祀施設があるが、やは
り祭祀と関係あるものであ
らう。
復元された粟の巨木は日
本にならぬロシアから輸
入したものだといふ。
長大なロングハウスにも
驚いた。大畑住居は十メー
トル超える住居である。今
までも東北や北陸の縄文
遺跡からも発掘されている。
三内丸山で十数棟が発掘
されている。最大のものは
三三メートル、幅一〇メー
トル、約七五坪の広いもの
である。集会所か、冬の共
同作業場であろうか。
巨大な独立柱をたてるた
めの集落の会や他から
の加勢の宿場所か、十数
棟は同一の時代ではないだ
ろう。
堅穴式住居一棟、高床式
倉庫二棟が復元され、見学
できるようになっている。
ほかに、今迄発掘されたも
のを展示している展示室一
棟、それに遺構展示施設五
ヶ所もある。
展示室はテレビや考古学

関係の本でおなじみになっ
た三内丸山遺跡のスター達
が並べられている。
いろんな表情の土偶たち、
縄文シエト、編み物の
袋、中にクルミを半分にし
たものが一個入っていた。
巨大なヒスイの玉、鋭利に
加工された各種石器、円筒
十蓋、鯨骨など、会
場は驚きの声でいっぱい
だった。
石器の材料を近くから
ではなく、海上の道、陸上
の道を通って、広範囲にわ
たつて運ばれていることに
驚く。
ヒスイは新潟・糸魚川産
黒曜石は北海道産、長野産
新潟・佐渡産のものである
し、ヤジリやモリを着装す
るときの接着に使われるア
スは石手・久慈産である。コ
ハクは石手・久慈産である。
ところが石質や分析で分つて
いる。墓地は三五メートル
の死者の道があり、道は
はさんで二列ずつ成人用土
塚墓がある。乳幼児は別
一ヶ所にあった。現在発掘
中のところは、ストーン

サークル状の列石が見られ
た。
これが五〇〇年前の、
縄文時代前期から中期まで
の二五〇年の長い時代での
遺跡だが、原始時代という
イメージはない。狩猟・漁
撿・採集(一部栽培もあつ
た)だったが、の完成された
姿であった。
ただこれが一五〇〇年
間が一度にこの目を見たの
だから、一五〇〇年間をこ
まかに検討する仕事は待つ
ている。一五〇〇年間の土
の記憶を語るには、また
発掘よりも大変な仕事で
ある。
三内丸山遺跡に感動しな
がら青森発三時五分快
速「しもきた」に乗車、下
北に着いたのは一五時一七
分だった。
恐山参詣である。高野山
比叡山と並ぶ、日本三大霊
山の一つである。恐山はア
イヌ語のワシヨロガウソリ
と訛り、さらにオンレとなつ
たとか、観光パンフレット
に書いてあった。
——◇——

青柳種信著 瀛津島防人日記(下巻ノ十)

奉 勅依請者、府宣承
知、依奉行之
寛喜三年(三三) 四月
五日
大史小槻宿禰(花押)
小辨藤原朝臣(花押)
永(一) 寿元年(二二)の
御禮旨にも、孤島を築くよ
し見たり。又、曲村賜る
よしの延慶(三三)の院宣
あり。

次に載たり。此往阿が事
は、続日本紀の神護景雲元
年(七三)のところに見た
る、宗像朝臣深津が、僧寿
応にすめられて、金崎の
船瀬を造りに似たること
也。

筑前型後社修理料所曲
村事、任寛喜旨如元所
被返付也。可令存知者。
院宣如此、悉之以状。
延慶二年八月十五日
大宮司館
また文書
左辨旨下 大宰府
座、知筑前国、除高時
法師類以下朝敵与同外
諸国輩。当時知行地、不
可有依違事。
右大朝臣藤原朝臣官房奉
勅、兵卒之後、士卒民
座不安堵、仍降緑綸、被
救并策、而万機事繁。施
行有煩、加之諸国之輩不
論遠近、悉以京上徒妨農

業之案、遷葬撫民儀、自
今以後所被施也。
然者除高時法師等類以下
朝敵与同輩之外、当知行
之地、不可有依違之由。
宣仰五、幾七道諸道。勿
敢違失、但於臨時勅敷宣
非此限者、府宣承知、依
宣行之
元弘三年(三三)
七月十六日
大史小槻宿禰
小辨藤原朝臣

などあり、周防にもち行し
ころは、五百餘紙ありしと
云。いまは、百七拾餘通あ
り。いと古めかしきもの也。



この宗像朝臣の事、古き
物考を、始にひたる
吾田丹陽命の稱にて、君
の姓也しか、飛鳥清見原
天武朝の御世に姓の朝
臣を賜はれり。
——◇——
又、尊氏の鎧・軍配・团扇
等あり。又銅印一面あり。
其形(図略)いと古めかし
きもの也。
氏後の息の妻は、大内義
弘の女也しか、義弘とは
かりて、朝鮮使を遣して
買物し、かしの船をも爰
にまねけり。其時の勘合印
也といひ云。
宗像氏朝、氏俊が、彼国
に使を遣したる事は、朝鮮
の人の書たりし、海東諸国
記といふ書にも見たり。
(また)墨き翁飯面あり。
——◇——

残暑御見舞申し上げます

SANCS
株式会社 サンクス
代表取締役 藤井俊孝
宗像市東郷一〇九一三
TEL 〇九四〇一三七二一五〇
FAX 〇九四〇一三七二二四二八

鮮魚仲買 有限 やまえ水産
卸・小売業 会社
会席、仕出し、鉢盛御用命に応じます
代表者 安部 實
宗像市 玄海町 神湊
TEL 〇九四〇一六一〇〇〇六
FAX 〇九四〇一六一二二一四三

株式会社 城山家具
代表取締役 寺田 修
宗像市大字三郎九五一九一
本館 TEL 〇九四〇一三三三三三
城山二 TEL 〇九四〇一三三三三三

九州事業部 日本紙工株式会社
取 事 業 部 長 大 力 重 治
福岡県粕屋郡新宮町大字立花口〇五上
TEL 〇九二一九六三〇一〇二二(代)

宗像大社神酒
福岡県宗像市大字武丸一〇六〇
合資会社 伊豆本店
伊豆善也
TEL 〇九四一三三三三〇〇一

宗像大社神酒
勝屋酒造合名会社
社長 山本博次
宗像市大字赤間九五七
TEL 〇九四一三三三三〇〇一
FAX 〇九四一三三三三〇〇一